



# サンワチャンネル



## 令和8年3月号



↑  
過去のサンワチャンネルはこちら

# 桜の季節がやってきました！

暖かい日が続き、春の訪れを感じる季節になりました。桜は春を象徴する花で、見ているだけで癒される存在です。今回は桜にまつわる疑問や歴史をご紹介します。ぜひご覧ください。

## 日本人と桜の歴史

### 弥生時代まで遡る「日本人と桜」の始まり

桜の開花時期は気温と密接に関係しており、暖かくなると開花を始めます。そのため、桜が満開になる時期を基準にして、稲作を開始していたと推測されています。また、桜の咲き具合で稲作の豊凶を占う習慣も、弥生時代に生まれました。

### 桜よりも早く始まった「梅の鑑賞」

鑑賞する習慣は桜よりも梅の方が早かったと言われています。中国の文化を積極的に取り入れた奈良時代に、日本へ渡来しました。梅の良い香りが、貴族の間で人気となり、梅を鑑賞する習慣が生まれました。

### 「花見＝桜」の認識ができた平安時代

日本で初めての花見が行われたのは平安時代です。当時の天皇が894年に花見を開いたことをきっかけに、天皇が主催する年中行事になりました。その後、天皇だけでなく貴族の間でも花見が行われるようになり、これが現代の花見の起源だと言われています。

### 宴会をしながら桜を愛でる習慣が生まれた鎌倉時代

鎌倉時代に入ると武士の間でも花見が行われ、武士が住んでいる地方でも花見が開催され始めます。この時代から、花見は桜の木の下で「宴会」をするスタイルへと変化・定着していきます。

### 庶民に花見が定着した江戸時代

江戸時代になると庶民も花見を楽しむようになります。現在も東京を流れている隅田川ですが、当時は大雨になると氾濫が起こりやすい状態でした。ただ、全域に堤防を作ることは不可能だったため、堤防の代わりとして川沿いに桜が植えられ、庶民でも花見として楽しめる場所が増え、花見が広がっていきました。

## 桜にまつわるQ&A

❖Q.開花や満開に定義はあるの？

A.気象庁では、開花日は標本木で5輪から6輪以上の花が咲いた状態となった最初の日、満開日は同じ標本木で8割以上のつぼみが開いた状態となった最初の日と定義されています。

❖Q.桜と梅、桃は同じ仲間なの？

A.淡紅色の可憐な花がつく近縁の仲間ではありますが、違いも見られます。梅と桃は中国からの外来種である一方、桜は古来より日本に自生していた在来種であることが挙げられます。

❖Q.桜の樹に寿命はあるの？

A.桜のように長命の樹木は、人間のような寿命という概念は存在しません。日当たりが良く、根が水分を吸収しやすい土壌と育成に適した環境づくりがなされ、病害虫の発生などにも適切に対応し保護されていれば、ほぼ半永久的に生き続けることができるのです。

## 山形県の主な桜の名所

(ウェザーニュースから一部引用)

鶴岡公園 (鶴岡市)

最上公園「最上城址」  
(新庄市)

倉津川しだれ桜  
(天童市)

霞城公園 (山形市)

天童公園「舞鶴山」  
(天童市)

烏帽子公園  
(南陽市)

❖ウェザーニュースで

より詳しい情報がご覧いただけます。

発行元：税理士法人 三和会計事務所